

取組の分類別採点基準表

審査項目	審査項目の要点	①	②	③
		家庭や事業所等の脱炭素化を進める活動・取組	脱炭素化を進める商品・サービス等に関する活動・取組	普及・啓発活動、環境保護活動
		(建物等の脱炭素化改修、再エネ設備の導入、次世代自動車の購入 等)	(脱炭素商品の開発・販売、新しいサービスの展開 等)	(イベントの開催、環境に関する講座の実施 等)
脱炭素効果	取組内容によって、CO2排出量が直接的又は間接的に削減されている・削減が期待できること。 又は地域の脱炭素化の普及・啓発を後押しする活動であること。	・CO2排出量の削減量や削減率が高い(見込み含む)ものほど高く評価する。 ・短期間で効果が得られる取組ほど高く評価する。	・商品を購入したり、サービスを利用することでCO2排出量の削減につながる取組ほど高く評価する。 ・商品を製造する際やサービスを行う際のCO2排出量を削減したものも評価する。	・開催目的における脱炭素の比重が大きいほど高く評価する。 ・イベント規模が大きい、参加者が多いほど高く評価する。 ・長期的に見た場合、より大きな脱炭素効果になると推測される取組ほど評価する。
取り組みやすさ (汎用性)	取組内容が町内外の他の事業所やコミュニティ、個人でも取り入れやすいものであること。	・技術的に取り入れやすいほど高く評価する。 ・有資格者の確保が不要等、制度的な課題が少ないほど高く評価する。 ・イニシャルコストが安いほど高く評価する。	・技術的に取り入れやすいもの、互換性が高いものほど高く評価する。 ・商品単価やサービス料が安いほど高く評価する。 ・時期を選ばず使うことのできる商品・サービスほど高く評価する。	・特別な技術や資格、設備や場所が不要であるほど高く評価する。 ・日常生活に取り入れやすいものほど高く評価する。
続けやすさ (持続性)	取組内容により、今後も持続的な脱炭素効果が期待できること。	・設備等について、耐用年数が長いもの、ランニングコストが安いものほど高く評価する。	・継続期間、使用期間、耐用年数が長期であることが想定されるほど高く評価する。	・定期的に開催、実施できるものほど高く評価する。
PR・情報発信・波及効果	今回の取組において、外部への情報発信や地域・町民への波及効果や経済効果などが具体的に記載されていること。 なお、波及効果や経済効果などについては、直接的・間接的であるかは問わないものとする。	・町民や町内事業者と連携し、地域に根付いた取組・活動であるほど高く評価する。 ・町内外に広くPRしているものほど高く評価する。 ・町内事業者を活用している場合は高く評価する(SNS等のフォロワー数なども考慮する)。	・新たな雇用の創出につながっているほど高く評価する。 ・地域、町民の生活の質の向上につながっているほど高く評価する。 ・商品、サービスの需要が多い(見込み含む)ほど高く評価する。 ・町外等に広くPRしているものほど高く評価する(SNS等のフォロワー数なども考慮する)。	・町民や町内事業者と連携し、地域に根付いた取組・活動であるほど高く評価する。 ・町外においても活動している場合は高く評価する。 ・町外における認知度が高いほど高く評価する(SNS等のフォロワー数なども考慮する)。
創意工夫・独自性 (アピールポイント)	取組を始めた経緯や今後の事業展開など、取組・活動のアピールポイントについて具体的に記載されていること。	・アピールポイントや取り組み全体における創意工夫について、独自性や似ている取組との相違性について評価する。		